



2009 年 11 月 20 日

アクサ ジャパン ホールディング株式会社

**～アクサ、「ブレックファスト・チャリティ」を実施～
日本初の手話教育を行うろう学校「明晴学園」に収益金約 55 万円を寄付**

アクサ ジャパン ホールディング株式会社(本社:東京都港区、代表取締役社長兼 CEO マーク・ピアソン、以下「アクサ」)、ならびにアクサ生命をはじめとする日本のグループ企業各社は、2009 年 7 月から 9 月にかけて「ブレックファスト・チャリティ」を実施し、このほど収益金 55 万 2,592 円(会社からのマッチングファンドを含む)をろう学校「明晴学園」(東京都品川区)に寄付しました。

「ブレックファスト・チャリティ」は、クロワッサンとカフェオレなどの朝食を 1 口 500 円で社員にチャリティ販売し、仕入れ値を差し引いた額を支援先に寄付するもので、アクサ生命本社、アクサ損害保険本社をはじめとする全国約 20カ所のオフィスで、計 1000 人以上の社員が参加しました。「単にお金を寄付するだけでなく、社員が自ら参加し時間を寄付することで地域社会に貢献する」という AXA グループの社会貢献活動の基本理念に基づいて、役員や管理職が朝食の給仕を行って社員へ協力を呼びかけました。

「明晴学園」は、日本で初めて「日本手話」と「日本語」によるバイリンガル教育を導入したろう学校です。このチャリティは、昨年、アクサで活躍するろうの社員のひとりから、同学園に関する情報提供を受けたことがきっかけとなって実現したもので、今年は、昨年に引き続いて 2 回目の開催となりました。アクサは、この寄付金が「明晴学園」のより豊かな教育環境作りに役立てられることを願っています。



明晴学園の手話を使った授業のようす

ろう学校「明晴学園」について

「明晴学園」は、2008 年 4 月、日本初のバイリンガルろう教育を行う私立学校として開校しました。これまで日本のろう学校では、日本手話で授業を行うことが否定され、補聴器や発声訓練によって日本語での会話習得を目指す授業が行われてきました。「明晴学園」では、耳の聞こえない子供たちは「日本手話」を第一言語として学び、その後「日本語」の読み書きを身に付け、手話と日本語のバイリンガルに育ちます。これによって、聞こえる子供たちと同じように学ぶことができるようになりました。(URL: <http://www.meiseigakuen.ed.jp/index.html>)

AXA グループの社会貢献活動

AXA グループは、フィナンシャル・プロテクション分野で世界をリードするグローバル企業です。ヨーロッパ、北米、アジア太平洋地域を中心に、世界各国で事業を展開しています。AXA グループは、コアビジネスであるフィナンシャル・プロテクションの延長線上に社会貢献活動を位置づけ、世界各国でさまざまな活動を行なっています。日本では、人生のアクシデントによって困難な状況にある人々をサポートする活動を展開しています。AXA はパリ証券取引所に株式を上場、ニューヨーク証券取引所には米国預託株式(ADS)を上場しています。詳細は www.axa.com をご参照ください。

～本件に関するお問い合わせは下記までお願いいたします～

アクサ ジャパン ホールディング株式会社 広報部

電話: 03-6737-7140 FAX: 03-6737-5964

<http://www.axa.co.jp>